

100T

號 五 一 第 經

受 印 封 領 省 代 第 四 一 八 號 主 計 保 (手 奉 保 直 系) (ア ニ コ ニ)	件 名 依 平 池 里 手 抄 本 細 帳 制 定 件	大 臣 取 次 官 高 頭 判 官 主 計 保	決 主 務 判 官 主 計 保	裁 主 務 判 官 主 計 保	上 務 判 官 主 計 保	課 長 明 世 五 月 廿 六 長	大 臣 判 官 明 世 五 月 十九 日 長	官 判 官 明 世 五 月 廿 六 長	房 判 官 明 世 五 月 廿 六 長
---	--	--	--	--	-------------------------------------	---	--	--	--

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣

明治三十三年一月陸軍經理事務
條例改正の日付を
一月五日に決定す
左の法律に上りて
改正す

陸軍經理事務を
改正す
陸軍大臣
年月日

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣
送乙第... 号

正月廿六日

官房控

6001

陸軍經理學校教育綱領

第一條 陸軍經理學校ノ教育ヲ分テ生徒科及學生科ノ二トス

第二條 生徒科教育ノ要旨ハ主計候補生ヲシテ陸軍經理部初級士官ニ闕クハカラサル學術ヲ修得セシメ且將來高等ナル學術ノ研究ニ資スヘキ基礎ヲ造ルニ在リ

第三條 學生科教育ノ要旨ハ生徒科ノ教科ヲ補充擴張シ尚高等ノ勤務ニ須要ナル學術ヲ修得セシメ併テ其ノ活用ノ識力ヲ

1011

1010

第

主要科目

編制

徑理

會計學(基本)

簿記

會計學

外國法學(英、獨、佛、歐、清、內)

發達セシムルニ在リ

優等ノ卒業者ニシテ員外學生ト爲シタル

者ハ更ニ必要ナル高等ノ科學ヲ帝國大學

ニ於テ專攻セシム

第四條 第二條ノ要旨ニ基キ生徒科ノ教科

ヲ定ムル左ノ如シ

一、 編制

二、 經理

三、 作戰給養(基本)

四、 簿記

五、 地形學

管

訓育（那務馬術、体操、剣術、操練）

補助科目（補助科目、大書、止、且、宣、際、應用、ラ、主、ト、ス）

地形学

建築学

衛生学

法律学

経済学

統計学

別

脚
油

六、建築學

七、衛生學

八、法律學

九、經濟學

十、會計學

十一、統計學

十二、外國語學（英、獨、佛、露、清ノ内）

十三、訓育（服務、馬術、射術、劍術、操練）

第十四條 第三條ノ要旨ニ基キ學生科ノ教

科ヲ定ムル左ノ如シ

主要科目 給養（應用）

作戰給養(應用)

俗養史

重要地理

編制(各國比較)

經理(各國比較)

外國語學(英、獨、佛、露、清、日)

馬術

補助科目

(補助科目の大要は、衛生、實際、應用の三トモ)

應用理化學(糧食不被服品)

法律學

憲法

行政法

國際法

財政學

地 理 學 外 國 語 學 法 律 學 政 治 學 經 理 學 國 際 法 行 政 法 財 政 學 應 用 理 化 學 外 國 語 學

附 錄 卷 一

- 二、給養史
- 三、主要地理
- 四、編制(各國比較)
- 五、經理(各國比較)
- 六、法律學(應用)
- 七、國法
- 八、行政法
- 九、國際法
- 十、財政學
- 十一、應用理化學(糧食品、被服品)
- 十二、外國語學(英、獨、佛、露、清、日)

十三 馬術

第六條 生徒ノ教授ハ簡易ト實用ヲ旨トシ陸

軍經理部初級士官ノ實地勤務ニ適合

セシムルヲ本領トス故ニ成ルヘク深遠ノ理論

及複雑ナル事項ヲ避クルヲ要ス

第七條 生徒ノ訓育ハ軍紀風紀ニ慣熟セ

シメ徳性ヲ涵養シ忠君愛國ノ志操

ヲ發揮ヒシメ又身軀ヲ鍛錬シ技術ヲ

進シ軍人精神ヲ養成スルヲ要ス

第八條 學生ノ教授ハ高等勤務ニ要スル

學術ノ原理ヲ攻究ヒシメ實例ヲ引用

陸軍省

シ各種ノ應用問題ヲ課シ其ノ他實地見
 學及野外作業等ヲ以テ活用ノ能力ヲ發
 達セシムルヲ要ス又應用理化學ハ勉メ
 テ實物實檢模範器械等ニ依リ理解
 ニ便ナラシメ且重要品ノ検査法ハ各自
 ヲシテ親ク練習セシムルヲ要ス

第九條 學理ノ解釋及應用ノ識力ヲ檢
 定センカ爲 學生、生徒ニ對シ時々試
 驗ヲ行フヘシ

第十條 校長ハ本綱領ニ依リ生徒科及學
 生科ノ教成計畫ヲ定メ陸軍大臣ノ

認可ヲ受クヘシ

第十一條 第四條 第五條ノ教科ハ特別ノ必要

アルトキハ校長ニ於テ陸軍大臣ノ認可ヲ受

テ之ヲ變更スルコトヲ得

陸軍省